

コーティング剤施工時の注意

コーティング剤の性能を保つために、施工は正しい方法で行ってください。

- 硬化後は拭き取ることができなくなるのでムラができないように施工を行って下さい。
- 一度施工に使用したパフは硬化してしまうため使用しないでください。
- 気温が高すぎる場合は施工を行わないでください。
- 湿度が高いと硬化までに通常より時間がかかる場合がございます。
※通常硬化時間 24 時間程度
- 硬化途中はクロスで拭いたり触れたりしないでください。
- 雨の日は施工を行わないでください。



ワイパー部分施工時の注意

ワイパーのゴム部分に溶剤が付いてしまうとワイパーを動かしたときに滑りが悪くなってしまいうため必ずゴム部分をマスキングで保護してから施工を行ってください。



メッキ部分施工時の注意

メッキ・ステンレス部分は未塗装樹脂部分と比べると凹凸が少ないため塗りムラができやすくなります。必ずクロスでしっかり溶剤を伸ばしてください。

コーティング剤

メッキ・ステンレス表面

コーティング剤

未塗装樹脂表面

使用禁止箇所



上記の箇所には絶対にコーティング剤を使用しないでください。**変色などの異常**が起きる場合がございます。

コーティング剤が付いてしまった場合はすぐに拭き取って下さい。

コーティング職人直伝の施工方法

コーティング職人に教わった施工方法でハイクオリティな仕上がりを実現します。



STEP1 施工前準備

コーティング剤に付属のスポイトの先をねじるようにして装着します。





STEP2 施工箇所の洗浄

中性洗剤や市販のカーシャンプーなどを使用して施工する部分とその周りもしっかりと洗浄してください。



STEP3 施工箇所周りの保護

マスキングテープを使用して施工箇所以外に溶剤がついてしまわないように保護してください。



STEP4 パフに適量溶剤を付ける

付属のパフに未塗装樹脂面に塗る場合は2～3滴、メッキ・ステンレス部分に塗る場合は1滴付けてください。





STEP5 施工箇所に溶剤を塗布する

パフを使用して溶剤を同一方向に伸ばすように塗布してください。

【使用例】

- 三角型のパフ
グリルなどの細い隙間
- 丸型のパフ
バンパーなどの広い部分



STEP6 施工箇所のムラをなくす

1~3分乾燥させてから綺麗なクロスを使用して塗布面のムラをなくすようにしっかり伸ばしてください。

※ムラができたまま固まってしまうと溶剤を拭き取れなくなります。



STEP7 施工箇所を乾燥させる

約24時間から約48時間施工箇所に水分が付かないようにして乾燥させて完成です。